

2019 年度 日本病院薬剤師会
診療報酬改定特別調査
【病棟薬剤師票】

※「回復期リハビリテーション病棟入院料」及び「地域包括ケア病棟入院料」を算定している病棟がある場合は、ご回答ください。当該病棟がない場合は回答不要です。

※回答は1病棟1調査票とし、病棟担当薬剤師の代表者をご回答ください。

不足する場合は、調査票をコピーしご利用ください。

例) 回復期リハビリテーション病棟入院料病棟が2病棟ある場合、調査票を2つ回答

- 特に指定がある場合を除いて、2019年6月1日現在の状況をお答えください。
- 数値を記入する設問で、該当するものが無い場合は、「0」（ゼロ）をご記入ください。
- チェックボックスが「○」の場合は単一回答、「□」の場合は複数回答の設問となります。

1. 当該病棟について

(1) 担当病棟の病床数についてご記入ください。			
(A) 当該病棟の病床数		(B) 回復期リハビリテーション病棟入院料	床
		(C) 地域包括ケア病棟入院料	床
	床	(D) その他の入院基本料・入院料	床
(2) 当該病棟の平均在院日数			日
(3) 当該病棟の病床種別は何ですか。		○1:一般病床, ○2:療養病床,	

2. 当該病棟における薬剤師の勤務状況について

(1) 当該病棟の担当薬剤師数は何名ですか。		名(実人数)	
(A) 常勤薬剤師数		(B) 非常勤薬剤師数	
	名(実人数)		名(実人数)

※(2)～(4)については、2019年6月の任意の1週間の業務時間・患者数をご回答ください。

(2)～(4)は同じ任意の1週間でご回答ください。

(2) 1週間あたりの病棟薬剤業務実施加算に該当する時間をご記入ください。	業務時間(分/週)
(A) 当該病棟で業務をした全ての薬剤師の合計時間	分/週
(B) 上記(A)で回答した時間の内訳を該当する業務ごとに記入してください。	業務時間(分/週)
1) 医薬品の投薬・注射状況の把握	分/週
2) 使用している医薬品の医療安全性情報等の把握及び周知	分/週
3) 入院時の持参薬の確認及び服薬計画の提案	分/週
4) 2種類以上(注射薬と内服薬を1種類以上含む)の薬剤を同時に投与する場合における投与前の相互作用の確認	分/週

	業務時間 (分/週)
5) 患者等に対するハイリスク薬等に係る投与前の詳細な説明	分/週
6) 薬剤の投与における流量又は投与量の計算等の実施	分/週
7) 医政局長通知に記載されている業務 (③⑥⑧を除く)	分/週
8) カンファレンスへの参加及び回診への同行	分/週
9) その他	分/週

(C) 上記(B)の7)の業務時間を記載している場合、実施している業務は何ですか。

- 1: 薬物療法プロトコールについて提案、協働で作成、協働で進行管理,
2: 患者の状態に応じた積極的な処方提案,
3: 副作用の発現や有効性の確認に基づく、薬剤の変更提案,
4: 薬物療法の経過確認及び同一処方継続可否の提案,
5: 抗がん剤の無菌調整,
6: 他の医療スタッフへの助言や相談への応需

(3) 1週間あたりの薬剤管理指導業務に該当する時間をご記入ください。	業務時間 (分/週)
(A) 当該病棟で業務をした全ての薬剤師の合計時間	分/週
(B) 上記(A)で回答した時間で薬剤管理指導業務を実施した患者数	人/週
(C) 上記(B)で回答した患者のうち、ハイリスク薬を服用していた患者数	人/週

(4) 1週間あたりの退院時薬剤情報管理指導業務に該当する時間をご記入ください。	業務時間 (分/週)
(A) 当該病棟で業務をした全ての薬剤師の合計時間	分/週
(B) 上記(A)で回答した時間で退院時薬剤情報管理指導業務を実施した患者数	人/週
(C) 上記(A)で回答した時間で退院時薬剤管理サマリーを作成し情報提供した患者数	人/週
(D) 上記(A)で回答した時間でお薬手帳に記載した患者数	人/週

(5) 当該病棟で上記(2)～(4)の業務を行なっている場合、その効果は何ですか。

- 1: 医師の業務負担の減少,
2: 看護師の業務負担の減少,
3: 薬剤関連インシデントの減少,
4: 患者の薬に関する知識とアドヒアランスの向上,
5: 他施設との薬物療法に関する連携の向上,
6: チーム医療の質の向上,
7: その他 ()

※以上で設問は終了です。調査にご協力いただきありがとうございました。